



板井地区の自主防災組織の皆さん
防災訓練会場の玉村小学校まで徒歩で避難した

「自主防災組織」って何？

自主防災組織とは、地域住民が協力して「自分たちのまちは自分たちで守る」ことを目的に、日ごろからさまざまな活動を行う組織です。地震など大規模災害が発生した直後は、消防や警察などの公的機関の救援が不足しますので、地域が結束して災害に対処することが大切です。

玉村町内では、地域防災訓練の他、各地区で自主防災訓練を実施しています。災害時「あなた自身・家族」や「地域みんな」のため、自主防災組織の活動に積極的に参加しましょう。

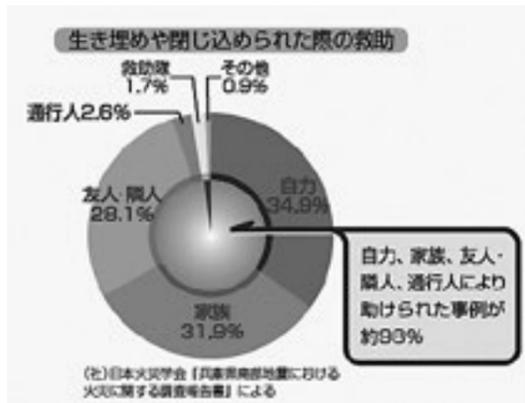


9月3日 玉村小学校での防災訓練

大災害に備えて、自分を守る行動は今からできる

○阪神・淡路大震災では

平成7年1月に発生した阪神・淡路大震災では、救出者の約98%が自力や家族、近隣住民などの地域の人たちにより救助されました。また、住民による初期消火により火災の延焼をくい止めた所もありました。



家族防災会議を開こう

地震、火災、風水害などが発生した場合に備えて、普段から家族全員で話し合い、連絡方法や役割分担を確かめましょう。

1 連絡方法をたしかめよう

- ・外出している家族との連絡方法を確かめましょう。
- ・災害用伝言ダイヤル「171」の使い方を確かめましょう。
- ・被災地以外に住む親戚や知人を中心地点にして連絡を取ることも考えましょう。

2 避難場所・避難経路を確かめよう

- ・地域の避難場所を確かめましょう。(広報8月号3ページに掲載)
- ・避難経路は一つではなく複数の経路を確かめましょう。
- ・家族で休日などに下見をしておきましょう。

3 災害時の役割を確かめよう

- ・高齢者や乳幼児を避難させる人を確かめましょう。
- ・非常用持出品を持ち出す人を確かめましょう。
- ・ガス栓を閉め、ブレーカーを切る人を確かめましょう。
- ・消火器などで初期消火する人を確かめましょう。

命を守る防災訓練

もしもの時、助け合いが命を救う

生活環境安全課 ☎(64) 7708

消防団や女性防火クラブ、消防署や災害協定締結団体の協力のもと、9月3日に玉村小学校で、住民参加型の地域防災訓練を実施しました。

今回の訓練では、関東地方北部で巨大地震が発生し、玉村町で震度6強を記録したことを想定し、避難勧告を発令、住民の避難訓練、校庭や体育館で各種防災訓練の体験・見学を実施しました。



女性防火クラブによる炊き出し訓練



指定水道工事店組合による給水

4 非常持出品を確かめよう

- ・貴重品：現金、預金通帳、印鑑、免許証、金利証書、健康保険証など。
- ・非常食：乾パン、缶詰、栄養補助食品、乳幼児用食品、高齢者用食品、飲料水など。
- ・応急医薬品：ばんそうこう、胃腸薬、常備薬など。
- ・生活用品：衣類、タオル、ティッシュペーパー、軍手、雨具、生理用品、紙おむつなど。
- ・その他：携帯ラジオ、懐中電灯、予備の電池など。

Jアラート

弾道ミサイル情報、緊急地震速報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を、住民に瞬時に伝達するシステム。

たまむらお知らせメールサービス「メルたま」

携帯電話やパソコンに、防犯・防災などの緊急情報や、町イベント情報などをお伝えする登録制メール配信サービス。



メルたまQRコード